

## 5 新座市消防団のあゆみ

昭和14年 4月	大和田町、片山村の消防組を改称し、各警防団とする。
昭和22年 8月	大和田町、片山村の警防団を改称し、各消防団とする。
昭和44年 2月	日本消防協会より竿頭綬を授与される。
昭和49年 8月	消防団本部の所在地が、町名変更により新座市野火止1丁目5番1号となる。
昭和50年 4月	消防団の機構改革を実施、分団を9個分団・団員270人とする。新座市消防団規則を公布施行する。
10月	第1、4、6分団車庫が完成する。
昭和51年 3月	消防本部・署・団へ消防庁長官より竿頭綬が授与される。
昭和52年 3月	第1、4、6、7分団車庫に消防専用電話及びサイレン吹鳴装置を設置する。 消防団長並木重男氏が消防庁長官より永年勤続功労章を授与される。
9月	第2、3、5、8分団車庫に消防専用電話を設置する。第5分団車庫を改築する。
昭和53年 3月	消防副団長横田千之助氏が消防庁長官より永年勤続功労章を授与される。
10月	埼玉県消防協会表彰旗を授与される。
昭和55年 3月	消防副団長栗原滋郎氏が消防庁長官より永年勤続功労章を授与される。
12月	日本消防協会より表彰旗を授与される。
昭和58年 3月	第3分団車庫を野寺1丁目4番10号に移転新築する。
昭和62年 3月	消防副団長浅野昌氏が消防庁長官より永年勤続功労章を授与される。
4月	元消防団長並木重男氏が藍綬褒章を授与される。
昭和63年 7月	消防団員の定数を215人に改める。
12月	第5分団車庫を改築する。
平成5年 8月	消防団本部の所在地が新座市野火止2丁目9番45号となる。8個分団車庫にFAXを設置する。
平成6年 4月	元消防団長並木重男氏が勲五等旭日双光章を授与される。
12月	第2分団車庫を改築する。
平成8年 3月	消防団長浅野昌氏が消防庁長官より功労章を授与される。
平成9年 3月	消防団長笠原幹男氏が消防庁長官より永年勤続功労章を授与される。
	第8分団車庫を移転新築する。
平成10年10月	消防団本部の所在地が新座市野火止1丁目1番1号となる。 消防団事務が生活経済部交通防災課に移管する。
11月	元消防団長浅野昌氏が勲五等瑞宝章を授与される。
平成11年10月	市の機構改革に伴い消防団事務は市民環境部市民安全課となる。
11月	元消防副団長栗原滋郎氏が勲六等旭日単光章を授与される。
平成12年11月	第1分団車庫を畑中2丁目10番31号に移転新築する。
平成13年11月	第7分団車庫を同地に建替え新築する。
平成14年 4月	消防団員の定数を235人に改める。女性消防団員8人が入団する。
10月	第4分団車庫を同地に建替え新築する。
平成15年10月	第6分団車庫を同地に建替え新築する。
平成16年 3月	消防団長笠原幹男氏が消防庁長官より功労章を授与される。
平成18年 3月	第8分団消防ポンプ車両を更新する。
11月	サンケン電気株式会社から消防ポンプ車両2台（第1分団及び第7分団）が寄贈される。
平成19年 3月	第8分団車庫を移転新築する。
9月	第4分団及び第6分団消防ポンプ車両を更新する。
平成20年 3月	消防団長石井幸男氏が消防庁長官より永年勤続功労章を授与される。
10月	第5分団消防ポンプ車両を更新する。
平成23年 1月	第3分団消防ポンプ車両を更新する。
3月	消防副団長石田隆久氏が消防庁長官より永年勤続功労章を授与される。
10月	第2分団消防ポンプ車両を更新する。
平成25年 3月	第3分団車庫を同地に建替え新築する。
4月	女性分団を創設する。
平成26年 3月	一般社団法人日本損害保険協会関東支部埼玉損保会から、本部分団に小型動力ポンプ付軽消防自動車が付与される。
平成26年 4月	元消防団長笠原幹男氏が瑞宝双光章を授与される。